皆さん、こんにちは。編集長の天野恵実子です。
本誌「月刊経理WOMAN」の創刊は1996年4月のことです。以前私は別の出版社で経理・税務の雑誌を編集していたのですが、「経理や税金の記事は難しい！　ビギナーでも理解できるようにやさしく解説できないのかなあ…」と常々思っていました。そこで税務や社会保険についてビギナーの経理・税務・総務担当の方でも理解できるよう、できるだけ分かりやすく解説することをコンセプトに創刊したのが「月刊経理WOMAN」です。創刊からあっという間に27年が過ぎましたが、おかげさまで現在、全国4万人の経理総務ご担当者の皆さんにご愛読をいただいています。

月刊経理WOMAN　2023年12月号
にはこんな記事が掲載されています！👇

「月刊経理WOMAN」2023年12月号の特集企画では「助成金」を取り上げました。
助成金は銀行借入と違って返済する必要がありません。つまり「タダでもらえるお金」なのです。12月号の特集企画では賃上げや教育訓練など社員の「待遇改善」に使える助成金をご紹介しています。また助成金をスムーズに受給するためのポイントについてもアドバイスしています。この機会に助成金の活用を検討されてはいかがでしょうか。

特集　人材開発　業務改善　退職金制度導入　キャリアアップ…いろいろあります

社員の「待遇改善」に使える助成金ガイド

受給要件を満たしているにもかかわらず、助成金の存在を知らない、手続きの仕方が分からないという理由で、申請をしていないケースは少なくありません。しかし、インターネットで情報はいくらでも入手できる時代ですから、この「タダでもらえるお金」を活用しない手はありません。
本特集では、「人手不足への対応」や社員の「キャリアアップ」に使える助成金を詳しくご紹介しています。
なお本特集は、以下の4つのLESSONで構成しています。

LESSON1　助成金の活用を検討すべきこれだけの理由
LESSON2　いろいろあります社員の「待遇改善」に使える助成金
LESSON3　助成金をスムーズに受給するための労務管理のポイント教えます
LESSON4　助成金の活用―経理担当者はこんな役割を果たそう

この機会にぜひ「助成金」を活用しましょう!!

別冊付録

令和5年版「年末調整まるかじり」

今年も年末調整の時期がやってきました。今年の年末調整では前年同様に大きな改正はありませんが、非居住者扶養親族の適用範囲の変更や住宅ローン控除申告書の要件変更などに注意が必要です。また、令和6年度以降は扶養控除等申告書と保険料控除申告書についての記載事項が簡素化される見込みです。
本付録では年末調整の基本知識から改正ポイント、年末調整の電子化の方法等をビギナーにも分かるようにレクチャーします。ぜひお役立てください！